

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
日本語 I Japanese I		1年	前期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
1単位	演習	必修	(留学生必修 日本人不可)	特になし。
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
特になし。				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
特になし。				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー		電話番号・メールアドレス
田村眞依子	未定	学生からの依頼があれば随時実施		授業中に指示します
授業の概要				
これまで学習してきた初級の日本語を定着させるために、「話す」「聞く」「読む」「書く」の四技能を複合的に学び、中級への確実な土台を築く。				
授業の目標				
<ol style="list-style-type: none"> 1. 新出語彙の意味を理解し、例文作成できるようにする。 2. 文法を理解し、例文作成できるようにする。 3. ある程度まとまった文章を読み、内容を理解することができるようにする。 4. 日本語のリズムを捉え、簡単な会話ができるようにする。 5. 場面に応じたコミュニケーションができるようにする。 				
授業の方法				
授業時に配布する資料を読み、語彙、文法を確認する。その上で確かな運用ができるように練習する。話す際には、日本語のリズムやアクセントに注意しながら、自分の意見を述べられるように練習する。				
学習の成果（学習成果）				
<ol style="list-style-type: none"> 1. 基礎的な日本語力を身につける。 2. 日本語を聞き、自分の考えを簡単な文で話すことができる。 3. 日常生活で周囲と摩擦を起こさずにコミュニケーションできる。 				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	ガイダンスおよびレベルチェック（筆記・口述）			
第2回目	紹介する			
第3回目	誘う・断る	復習小テスト		
第4回目	たずねる	復習小テスト		
第5回目	友達と話す	復習小テスト		
第6回目	希望を言う	復習小テスト		

第7回目	申し出る	復習小テスト
第8回目	敬語	復習小テスト
第9回目	頼む・断る	復習小テスト
第10回目	褒める・褒められる	復習小テスト
第11回目	アドバイスをする・もらう	復習小テスト
第12回目	謝る	復習小テスト
第13回目	JLPT対策	復習小テスト
第14回目	JLPT対策	復習小テスト
第15回目	JLPT対策	復習小テスト
事前・事後学習	事前：予告した文法項目について予習してくる。 事後：学習した内容を復習する。	

成績評価の方法と基準

評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度	30%	毎回予習の上、積極的に授業に参加する。 指名された際には適切な発言ができる。 会話練習に積極的に参加している。
レポート		
調査報告書		
小テスト	70%	前週の授業内容をよく理解、習得し、テスト問題に正確に答えている。
試験		
発表内容（態度含む）		
その他		

教科書と参考図書

教室で指示する。

履修上の留意点・ルール

●実務経験（職種：日本語教師、職歴：通算5年）
学生の理解度やJLPTの日程により、授業内容を適宜変更する。
配布されたプリントはファイリングする習慣をつけること。遅刻厳禁。